

浦頭引揚援護局

引揚援護局(収容所)に着いた引揚者は、引揚手続き完了後、衣服や日用品などの援助物資の支給を受け、2・3泊されました。



佐世保引揚援護局(現在のハウステンボス付近)

主な展示資料

浦頭引揚記念資料館には、引揚時の衣服や水筒・鍋・箸などの日用品のほか、厚生省の「引揚婦女子の皆様へ」や引揚船内で出生した子どもの命名書など貴重な資料を展示しています。



引揚船内で産まれた子ども
に船長が命名した書面
心から平和を願い「和子」と
命名されています

厚生省(当時)が出した
引揚女性への案内



引揚婦女子の皆様へ

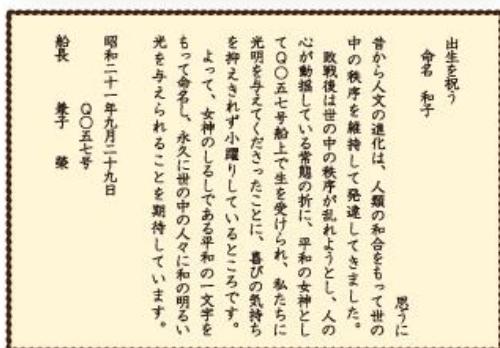
このたび、懐かしの故国に無事にお帰りになる運びとなりましたことを、心からお喜び申し上げます。永年の間、国策の第一線に沿ってご活躍なされた皆様がこのたび何をかも投げ出して引き揚げねばならなくなつた事に対しましては、何ともご同情の申し上げ様もございません。さて加えて終戦後起きた生活環境の激変のために、心身共に受けられたご苦労はさぞかし想像に余りあるものがありましょう。皆様の内にはそのために、精神的にも肉体的にも随分悩まれておられる方が多いことと思います。

私どもはこのことを考えると、國を挙げて真剣にお無い申さればなりません。そこでこのたび國立病院内に、婦女子のための病院を新しく設立し、病気によつては温泉療養施設をも整えて、一切國費で治療申し上げることになりました。

手続きは、上陸地に設けてあります婦女子相談所または同船内出張所にお出でになれば、親切に教えてくれます。引揚婦女子のお方は、一対一人残らず相談所までお越しください。そして病気その他、身体上のこなつては遠慮なくお話になつて適當な指導をお受けになるようおすすめ申します。相談所から病院までの輸送その他一切の面倒は當方において用意しておりますし、入院や治療は一切無料です。

内地は目下一般は施設や薬品がかなり不足しておりますために、治療が不十分となりがちです。安心して完全な治療しなさるには、この國立の婦女子病院を利用されることがいろいろ点で一番好都合かと思ひます。病気ほどご自身にとつても、一家一國にとつても不幸なことはありません。今後の皆様の再起の資本でもあり、再建日本の原動力となるのは健康です。一人一人が皆健康で頑張らなければ、日本復興は不可能です。この際、精神的にも肉体的にも、完全な健康体になられてからご帰國なさることを切におすすめいたします。

厚生省 医療局 國立病院 國立療養所
全 引揚後護院 地方引揚援護局



昭和二十一年四月

▲現代誌

▲現代誌